

# 町会報

# えひめ

2024

4

Vol.181

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会  
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2  
TEL089-941-7598(代表)  
FAX089-945-1318

# 砥部から 世界へ。



クリエイター育成のための  
砥部分校教育寮 建設プロジェクト



## Contents

第1回全員協議会	2	お知らせ 愛媛県町村会事務分担表	5
町からののお知らせ(上島町)	3	振興協会事業等説明会 / 一筆 / 4月の会と催し	6
愛媛県市町振興課長就任のごあいさつ	4	全国町村議会議員 団体補償制度	7
お知らせ 愛媛県市町振興課配席図	5	お知らせ 行革甲子園について	8

# 第1回全員協議会を 砥部町役場にて開催

## 県町村議会議長会

愛媛県町村議会議長会は、4月16日(火)に「令和6年度第1回全員協議会」を砥部町役場にて開催した。会議には、県内9町議会議長が出席し、次のとおり進められた。

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

三谷会長(砥部町議長)



あいさつをする三谷会長  
(砥部町議長)

### 3 地元町長あいさつ

佐川砥部町長



あいさつをする佐川砥部町長

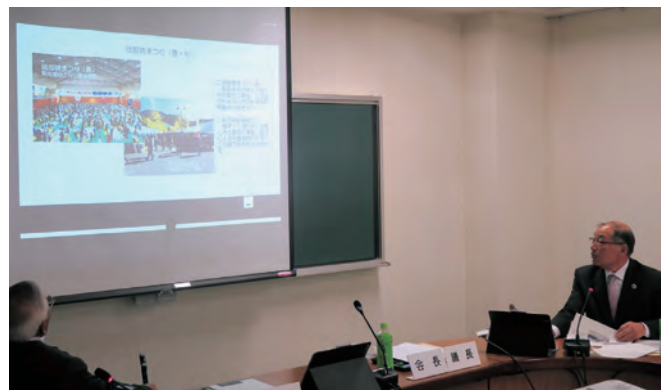
### 4 報 告

- (1) 行事報告について
  - (2) 令和6年能登半島地震に対するお見舞いについて
  - (3) 請願・意見書等に関する定例報告について
- 以上の3点について事務局から一括説明があり、一同了承した。



### 5 協 議

- (1) 今後の行事予定について
  - (2) 令和6年度町村議会議長・副議長研修会について
  - (3) 議長海外視察研修について
  - (4) 令和6年度第1回町議会議員研修会
  - (5) 令和6年度四国四県町村長・議長大会について
- (1)・(2)・(4)・(5)について、事務局からそれぞれ説明があり、一同了承した。
- (3)についても事務局から説明があったのち、出席者より様々な意見があり、実施等について協議が行われた。



佐川砥部町長による町政説明

### 6 その他

- (1) 次回全員協議会について  
事務局から説明があり、第2回全員協議会については、開催時期を正副会長に一任することに決定した。
- (2) その他

### 7 閉 会

- 協議終了後、佐川砥部町長より町政の説明をいただいたのち、砥部町役場内並びに砥部町内を視察した。
- 〔町内視察先〕
- 工藤省治記念館
  - 砥部むかしのくらし館
  - 坂村真民記念館
  - 砥部焼伝統産業会館



工藤省治記念館

# 弓削高等学校学生寮「ゆめしま寮」



ゆめしま寮は、上島町が町内唯一の県立高校である弓削高等学校の更なる魅力化を図ることを目的に、整備を行った学生寮です。

県産材を主要材料とした木造2階建てで、木のぬくもりを感じるデザインとなっており、建築には国の離島活性化交付金、愛媛県の公共施設木材利用推進事業（木造公共施設整備事業）を活用しました。

共用スペースの食堂は吹き抜けによる開放感一杯の空間となっています。また、寮生の部屋は全室個室にすることでプライバシーの保護に配慮してあります。その他にも寮内には学習室、浴室、洗面所、トイレ、テラス、バルコニー、厨房等が設けられています。

現在、全国募集により集まった多くの留学生が入寮して生活しています。

少子化が進む本町において、このゆめしま寮が弓削高等学校の更なる魅力化を図る上で、大きな役割を果たしてくれるものと期待するとともに、多くの生徒たちが自己研磨を積み、充実した日々を送れるよう運営を図っていききたいと思えます。

○所在地 上島町弓削下弓削1-2-1番地1

○延床面積 約972㎡

○定員 30名（1学年10名程度）



<寮室>



<食堂>



<テラス>



<学習室>

## 就任のごあいさつ

県総務部行財政推進局市町振興課長

雲 峰 隆 光



4月1日付けで、総務部行財政推進局市町振興課長を拝命いたしました。

私は、平成3年に県に入庁し、西条地方局（現東予地方局）地域福祉課、情報管理室（スマート行政推進課）、中小企業課（産業創出課）、財政課、薬務衛生課、県立病院課、一般財団法人地域活性化センター、地域政策課、行革分権課、公営企業管理局総務課等を経験し、それぞれの部署での人脈や経験、先輩からのアドバイスは、現在の仕事の進め方、考え方の礎になっております。

県職員としての初めての業務はケースワーカーでしたが、市町村の皆さまが様々な事例に対して懸命に対処されている現場を目の当たりにし、私も社会人として責任と自覚をもつ

て仕事に臨まないといけないと身を引き締めたことを思い出します。

県立病院課では、県立中央病院の建替えという大きな節目に立ち会い、様々な職種が一丸となって、県民医療の最後の砦となる中央病院の円滑な運営に向けて取り組みました。

地域活性化センターは、地域づくりの知見収集、研究、人材育成を行うとともに、自治体が行う地域活性化の取組みを支援する組織ですが、全国の自治体職員や民間企業からの派遣者が集まり、仕事の仕方や考え方が異なる中、同じ目標、成果に向かって新たな取組みを考えることや組織マネジメントなどを学ばせていただきました。また、愛媛を離れて東京で過ごすことで、愛媛の自然、人柄、生活・文化の良さを改めて認知することができたと同時に、地域住民と移住者、関係人口を結び付け、地域資源、人財のポテンシャルを磨き上げ、更なる知名度向上の取組みが必要であることを再認識したところです。

当課の取組みの県・市町の連携推進は平成22年度に始まり、他県と比べても強固な連携基盤が愛媛の強味であると認識しております。

昨年度は、愛媛県・市町連携「チーム愛媛」の新ステージの取組みとして

新たに「連携創出作業部会」を設置し、それぞれの自治体が有する課題を持ち寄り、中でも多くの市町で対策が必要となる複数のテーマについて、県と市町の若手職員によるワークショップにより、現場のニーズを踏まえた連携施策を検討いたしました。

また、今年2月に策定した愛媛県・市町連携推進プラン令和6年度版においては、「デジタル技術の活用」「地域経済の活性化」など、5つの重点連携項目を新たに設定し、県・市町双方からの提案に基づき、昨年度プランの9項目を大きく上回る19項目もの連携施策を盛り込み、スピード感を持って実行に移しているところです。

今年度も引き続き、本県が抱える課題を先送りすることなく、各町の皆様方とも手を携えて取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

また、「チーム愛媛」における取組みの一環として、今年度は通算7回目となる「行革甲子園2024」の開催を予定しております。このイベントは、「削る」「切る」「やめる」といった後ろ向きなイメージを多く含む行革を、明るく前向きに捉えて、創意工夫あふれる取組みのノウハウを全国の自治体で共有・活用するこ

とにより、新たな行革に結びつけることを目的に2年に1回開催しており、全国市町村や海外自治体における選りすぐりの先進事例を紹介させていただくとともに、今大会では、コロナ後初の参加者交流会を開催することとしております。

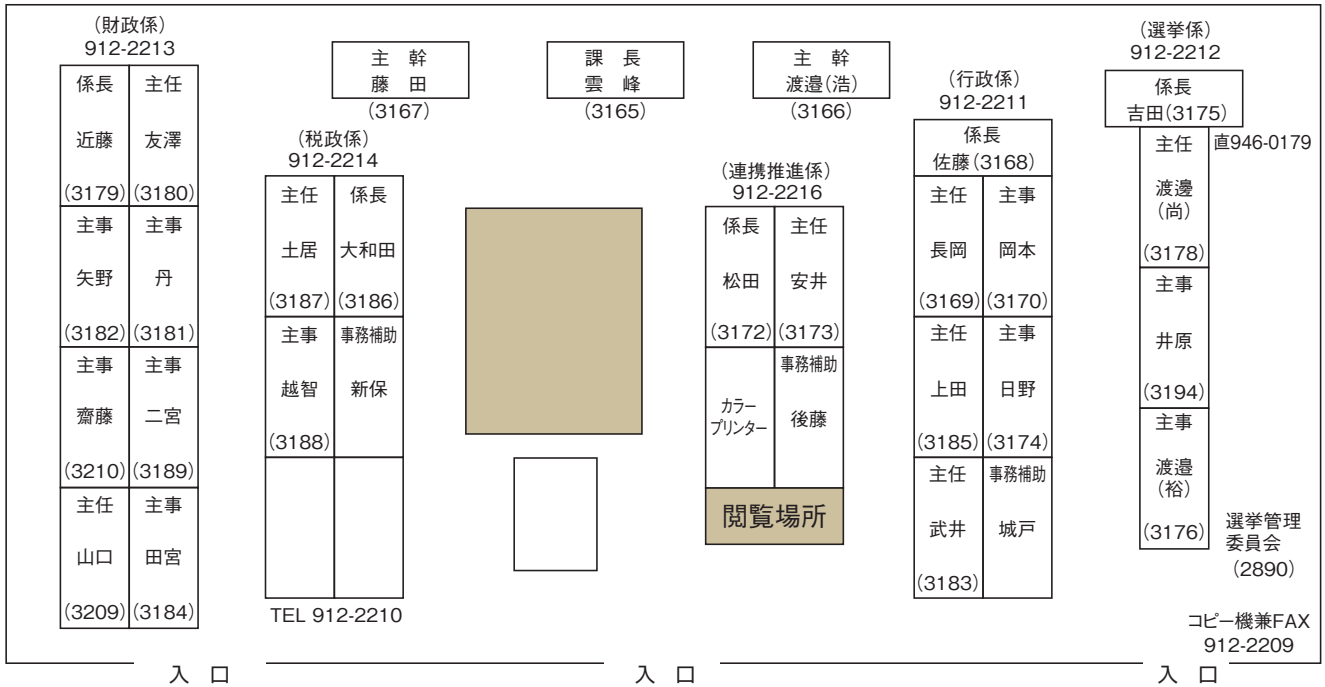
現在、業務効率化や地域活性化をはじめとして、デジタル技術の活用や、脱炭素等幅広いテーマを設定して優良事例を募集しているところであり、各町におかれましても、創意工夫あふれる取組みを全国にPRする機会としてご活用いただく意味におきましても、是非、積極的にご応募いただきますとともに、イベント当日は海外・全国市町村の先進事例に直接触れることのできる貴重な機会でございますので、ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

基礎自治体は、人口減少に伴う様々な課題への対応や働き方改革、DXの進展など、これまで経験したことのない行政経営への変革が求められてまいります。こうした局面を皆様からの忌憚のないご意見を賜り、ご協力を賜りながらチーム愛媛で乗り越えていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



市町振興課配席図

[令和6年4月1日 現在]



愛媛県町村会事務分担表

[令和6年4月1日 現在]

職名	氏名	事務分担
事務局長	向井政明	総括、町村会事務局長、議長会事務局長、総合事務組合事務局長、振興協会常務理事
次長	清川敦	局長補佐、総合事務組合次長、振興協会事務局長
次長	田窪浩司	局長補佐、町村会次長、議長会次長、振興協会出納役
総務課	課長	中井貴志
	課長補佐	原田祐子
	主任	新岡拓也
	主事	藤川拓也
	主事	久保佳織
会計課	課長(兼) 会計管理者	田窪浩司
	主事	真鍋侑里
	主事	芳之内麻里菜
事業課	課長(兼)	清川敦
	主任	丹下浩明
	主事	三瀬菜々美
	主事	小西涼雅

### 令和6年度事業等事務説明会 (公財)愛媛県市町振興協会

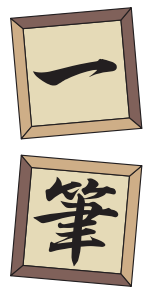
公益財団法人愛媛県市町振興協会は、4月24日(水)に愛媛県自治会館2階会議室で「令和6年度事業等事務説明会」を開催した。県内15市町から担当者16名が出席した。

説明会は次のとおり進められた。

- 1 開会
- 2 主催者あいさつ
- 3 打合せ事項

- ① 市町村振興宝くじ等のPRの協力について
- ② 貸付事業について
- ③ 交付金事業について
- ④ 市町の振興に伴うイベント等開催に係る助成について
- ⑤ 市町村職員研修財団受講に係る助成について
- ⑥ 情報セキュリティ監査助成について
- ⑦ 本会主催の研修会等について
- ⑧ その他

- ・市町の年会費等に対する助成ア(一財)地域活性化センター年会費
- イ ジェトロ愛媛貿易センター負担金
- ウ 松山空港利用促進協議会負担金
- エ 自転車新文化推進協会負担金
- オ 地域医療学講座設置運営費の寄附
- カ メンタルヘルス対策事業助成金
- ・「えひめイベントBOX」及び「舞たうん」
- ・愛媛県市町要覧



### 時は今である

ソフトクリームを手には、半袖シャツで満開の花見かと思えば、一段と底冷えする小雨の下での桜花見物。日々寒暖差が大きい、これも気候変動による今流の風流であろうか。だが4月下旬ともなると山々から市街地まで木々が若葉新緑一色。「緑」が心身ともにリフレッシュしてくれるような気がする。また、ツツジ、牡丹、藤の花など春百花が咲きほころい、人々の心をウキウキとさせてくれるのもこの頃。

諸外国と異なり日本の4月は、年始とも違う社会の様子が一変する。教育、経済活動など開始の年度始めであって、新鮮な月である。

我が国の経済も株価はじめ上向き基調に、経済界の硬直した類が緩むかと思えば、続く物価の値上がり傾向。円安の流れは一段と進み、一ドル160円超(4月下旬)。日米の金利差の影響は極めて大きいようだ。かつてのドル360円の時代に比べれば隔世の感ではあるが、ドル110円前後に戻れないものかと経済に疎い者でも口にしたくなる。安定した経済へのカンフル剤はなかなか見つからない。さて、経済が不安定な時代にある中、日本列島各地で地震が続発。今、地震活動期に入っているとされる。4月17日に発生した本県愛南町・

高知県宿毛市で震度6弱。M6.6の豊後水道を震源とした地震。巨大地震の予兆ではないとのことであるが、南海トラフ想定震源域内で起こったことは「不気味」である。

兎にも角にも数百年毎に?起こるらしい大地震に対し、現今のボーリングが届く範囲以外の地中は、ほぼ誰も知りえない不明の世界である。その兆候キャッチは困難である。ましてや予知の年月日・時を定めることは神業であろう。あとは、減災へ向けての出来る限りのあらゆる備えと無神論者を含め、巨大地震が起らない事を祈るしかない。

さてさて地上では、社会を揺るがすような人口構成。隣国の中国、韓国でも少子高齢化が大きな社会問題になっているが。我が国の昨年の出生者数は、一段と減少し約73万人(厚生労働省人口動態統計・日本人のみの速報値)。高齢化を危惧しつつ、出生数と死亡者数の差は歴然で人口の自然減は著しい。30年後には、4人に1人が75歳以上と推定。民間の「人口戦略会議」は、全国で744市町村が消滅の可能性ありと公表。人口減から、先々何処かの属国とか、主権を失うような形態は避けなければならぬ。未来の社会維持と安定生活の基盤固め、構築へ取り組む強い意識が不可欠。皆が本腰を入れる時は今である。

「人間の本质は苦悩であり、己の宿命に対する意識である。その結果ありとあらゆる恐怖、死の恐怖さえもがそこから生ずる。」

(マルロー フランスの小説家)

### 4月の会と催し

- ▽1日 愛媛県信用保証協会令和6年度第1回理事会
- ▽9日 愛媛県護国神社霊璽奉安祭(春季慰霊大祭)
- ▽10日 全国町村議会議長会都道府県事務局長会議
- ▽11日 全国町村会都道府県町村会事務局長研修会(12日まで)
- ▽16日 愛媛県町村議会議長会令和6年度第1回全員協議会、令和6年度全国簡易水道協議会中国・四国ブロック会議
- ▽17日 松山空港国際線旅客ビル拡張工事完成式典
- ▽18日 (一財)市町村議会議員公務災害連合会職員研修会、全国町村議会議長会事務・事業説明会
- ▽19日 全国町村議会議長会都道府県職員研修会
- ▽23日 春の園遊会
- ▽24日 (公財)愛媛県市町振興協会令和6年度事業等事務説明会
- ▽25日 愛媛県人権対策協議会第64回定期大会
- ▽26日 全国町村会政務調査会全体会議、全国町村会政務調査会行政委員会、全国町村会理事会・都道府県町村会長会、愛媛県新幹線導入促進期成同盟会令和6年度総会

# 全国町村議会議員 団体補償制度

## ケガの保険

(傷害総合保険)

- 保険期間：毎年7月1日午後4時から1年間(随時加入できます。)
- 加入資格：全国の町村議会議員等、議事事務局職員、系統町村議会議長会職員

### 補償の対象となる場合

例えば次のような事故によりケガをした場合、補償の対象となります。実際のお支払いは事故状況や損害の状況によります。

### お支払事例

※ケガの保険のため病気は対象外です。

#### ケガ

- 車での移動中に単独事故を起こし、首を痛めた

お支払保険金 約**18万円**



- 雪かきを行っていた際に滑って打撲、背中や腰を痛めた

お支払保険金 約**20万円**



#### 個人賠償責任

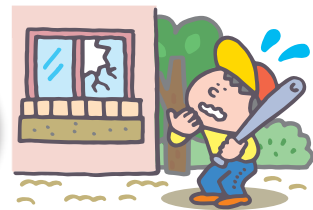
- 庭の整備のため草刈り機を使用中、飛び石により他人の車を傷付けてしまった

お支払保険金 約**33万円**



- 同居の孫が隣家の窓を壊してしまった

お支払保険金 約**7万円**



### 保険金額と掛金(保険料+事務運営費)

(※)昨年度と保険金額が異なります。(保険期間1年間 職種別A級 天災危険補償特約、後遺障害等級限定補償特約(第1級~第3級)、手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット)年払

加入タイプ	本人型(A型)		夫婦型(C型)	
	加入者(議員・退職議員)本人		加入者(議員・退職議員)本人	配偶者
ケガの補償の対象者	加入者(議員・退職議員)本人		加入者(議員・退職議員)本人	配偶者
補償内容	保険金額		保険金額	保険金額
死亡・後遺障害	1,015万円		1,015万円	415万円
入院	日額 <b>4,000円</b>			
通院	日額 <b>2,500円</b>			
手術	重大手術の場合	入院保険金日額の40倍	重大手術以外の場合	入院中の手術：入院保険金日額の20倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍
個人賠償*	最高 <b>2億円</b> (自己負担なし)			
掛金(保険料+事務運営費)	<b>24,000円</b>		<b>38,000円</b>	
一時払保険料	<b>22,000円</b>		<b>36,000円</b>	
事務運営費	<b>2,000円</b>		<b>2,000円</b>	

※個人が日常の生活で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を壊したりしたこと等により、法律上の賠償責任を負担した場合(除く自動車事故、猟銃事故等)

### 制度の特長

- 町村議会議員の皆さまがご加入いただける制度です。
- 議会議員を退職後も、継続してご加入いただけます。(掛金のお支払いは口座振替となります。)
- 公務中のケガから日常生活のケガまで、国内・国外を問わず24時間補償します。
- 地震によるケガも補償します。
- 加入の際、医師の診査などは不要で、年齢に関係なくご加入いただけます。
- 中途加入も随時受付しております。

◎ご加入のお申込みは◎  
町村議会事務局まで

### 全国町村議会議員互助会(保険契約者)

〒102-0082 東京都千代田区一番町25 全国町村議員会館 電話 03-3264-8172

- 本保険制度は、損害保険ジャパン株式会社を幹事保険会社とする損害保険会社4社の共同引受であり、幹事保険会社が他の保険会社の代理・代行を行います。引受保険会社は、各々の引受割合に応じて連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。引受保険会社と引受割合については、取扱代理店までお問い合わせください。
  - ご契約者以外に対象となる方(被保険者)がいらっしゃる場合には、その方にもパンフレットに記載した内容をお伝えください。
- この広告は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。
- ◎取扱代理店 株式会社まちむら 〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館 電話 03-3264-6830 (受付時間：平日の午前9時から午後4時まで)
- ◎幹事引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社 団体・公務開発部第三課 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 電話 03-3349-5408 (受付時間：平日の午前9時から午後5時まで)

# 行革甲子園

## Gyokaku Koushien 2024

～地方公務員が放つ！愛顔あふれる未来への一打～



### 事例募集

全国の市区町村の創意工夫あふれる取組を発表、表彰する「行革甲子園2024」を開催します。多くのノウハウを共有し、自らの取組に活用していただくことが目的ですので、全国から一つでも多くの事例の応募をお待ちしています。

募集期間

令和6年

# 6月7日(金)まで

事例応募だけでも **OK**

事例共有のみの参加（審査を希望しない）もOKです。応募のあったすべての取組を、応募団体をはじめ多くの関係機関で共有したいと考えておりますので、先進性や効果の大小に捉われることなく、積極的にご応募いただきますようお願いいたします。

当日の内容(予定)

- 日時・場所 令和6年11月8日(金) 12:30～17:00  
松山市民会館「中ホール」にて開催
- プレゼンテーション 6団体程度による事例発表
- 特別企画 海外事例の紹介 調整中
- 審査・表彰式

※大会終了後、大会参加者（当日参加者、審査員、事例発表者等）による交流会を開催予定です。



前回「行革甲子園2022」の様子



問い合わせ  
申込先

愛媛県 総務部 市町振興課  
〒790-8570 愛媛県松山市一番町4-4-2  
電話 089-912-2216 (直通)  
FAX 089-912-2209  
Eメール g-koushien@pref.ehime.lg.jp

題字：愛媛県立三島高等学校 書道部